

松原通の価値を上げる プロジェクト

松原通界隈活性化活動プロジェクト委員会

▶担当 山田正太郎 ▶電話 075-222-0122 ▶メール sho8@email.plala.or.jp

事業目的・背景

松原通界隈の文化と歴史を後世に引き継ぐ。松原通界隈の商店主と地域住民、子どもたちをつなぎ、松原通界隈を住みやすく、なおかつ多くの人に楽しんで通ってもらえる通りになるよう通りの価値を上げる。

事業概要

松原のれんプロジェクト

「松原通で商売されているか店舗と地域住民との親睦をはかる第一歩の取組」「松原通の価値をあげる」

松原通には古くから続く商店が多いが、住民との交流がないため、そこがマンションやホテルになって余計に住民との距離が広がってしまっている。松原通界隈活性化活動委員会では、これら商店に少しずつ呼びかけて、松原通に因む「のれん」をかけていただき、松原通の駅の開催日に合わせて出してもらい、地域住民との親睦をはかりたいと思います。のれんによる統一感、松原通の一体感を演出し、通りを歩く人に「京都らしい通り」と認識してもらい松原通そのものの価値をあげたいと思います。

活動期間

設立 2012年5月

松原通界隈活性化活動プロジェクト委員会は、洛央小学校を形成する7つの元学区の有志が集まり結成。この地域の魅力、歴史文化を次の世代に伝え、松原通界隈に賑わいを取り戻し、来る将来に向けて祇園祭の山鉦巡行前祭の松原通巡行の復活を夢見て活動す

成果

のれんのデザインは松原通の企業(和える)、地色を染めたのは地域の子どもたち(修徳児童館の子どもたち)、松を染めたのが地域の大人、総合プロデューサーは田中直染料店。松原通の若手経営者の協力もあり、河長、大西扇店、玉虫商店などがのれんをかけて下さいました。当日は、大丸松坂屋百貨店京都店のマスコットデッチーくんが来訪して出店してくれた子どもたちと保護者、訪れた高齢者を大いに盛り上げてくれました。

今後の予定

のれんの枚数を増やして、協力店にかけていただく。

協力店を増やす。

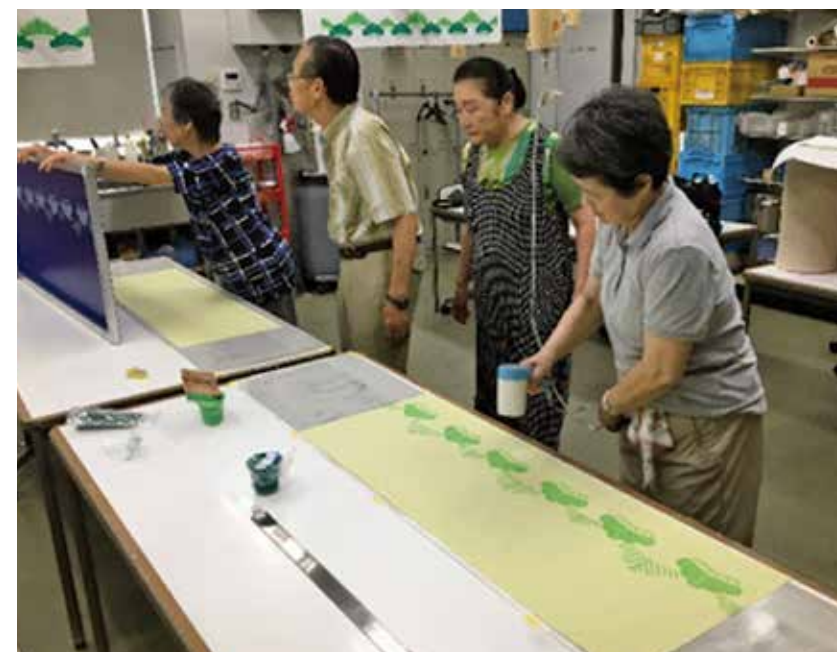
松原通の駅の内容の充実。

松原通の商品(松原パンと松原ビール)を幅広く展開してゆく。

龍谷大学文学部とのコラボの機会を増やす。



松原のれん
のれんの地色を染める児童館の子どもたち
田中直染料店社長さんの指導



松原のれん
松の絵柄を染める大人たち
田中直染料店社長さんの指導



松原通を訪れる大丸松坂屋百貨店京都店のデッチーくん。
松原通の駅に出店されたお店を訪問。